



横尾小学校便り

みがけ心、きたえ体

横尾っ子だよ



令和5年度 第14号 R06.03.22 (金)

～かしこく やさしく たくましく～

【・のびる横尾っ子 ・できる横尾っ子】

文責 校長 河野 正勝

第47回卒業証書授与式

3月18日、横尾小学校第47回卒業証書授与式を挙行了しました。

厳粛な空気に満たされた会場で53名の卒業生に卒業証書を渡しました。式歌も別れの言葉も、これまで練習を積み重ねていく中で、徐々に高まってきた気持ちと一緒に式場に響きました。いい声が出ていました。その姿を保護者の方、来賓の方、在校生代表の5年生、そして、本校職員がしっかり見届けました。5年生の参加態度、歌、呼びかけもたいへん立派でした。退場前には、担任には内緒にして計画していた6年生からのサプライズもあるなど、入場から退場まで感動に包まれた卒業式でした。卒業式後は、体育館で最後の学年会が行われ、各担任から子どもたち、保護者の方に向けてのとても温かいお話がありました。

最後は、横尾連合自治会が提供して下さったバルーン飛ばしを行いました。子どもたちの夢と希望を乗せたバルーンが大空に舞い上がりました。6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



3学期もありがとうございました

3学期も地域の皆様には、いろいろとお世話になりました。1月18日に生活科「ふゆとあそぼう」の単元で昔遊びを行いました。その指導者として、横尾だんじり保存会の方が10名来校してくださいました。コロナ禍の影響で保存会の方に指導をしていただくことも、4年ぶりとなりました。はねつき、輪回し、十二竹、お手玉、あやとり、おはじき、めんこ、竹馬、けん玉

ビー玉、こまと、たくさんの遊びを準備し、保存会の方々と約2時間昔遊びを楽しむことができました。子どもたちにとっては、ほとんどの遊びが初めてするものばかりで、なかなかうまくできない遊びもありましたが、保存会の方々が優しく丁寧に教えてくださったおかげで、上手にできるようになり、満足した様子の子もたちでした。終わりの会では、たくさんの感想や気付きとお礼の言葉を述べる事ができた1年生でした。



能登半島地震被災地への災害リハビリテーション支援に行かれた北部自治会会長黒木さんに4、5、6年生を対象に講話をしていただきました。能登半島地震の規模や被災地までの道のりの様子についての話から始まり、被災地の状況、災害リハビリテーションの活動とその重要性、実際に行われた活動、避難所の具体的な様子、48時間以内に整備される「TKB48(トイレ、キッチン、ベッド)」、避難所になった小中学校の様子、再開した小学校の数と登校人数、小中学生の避難所での活動と被災地の様子などを詳しく伝えてくださいました。最後は、横尾地区の防災・防災訓練や防災の日常化などについても話してくださいました。被災後の状況やそこに必要なもの、ことそして、防災に関することまで、たいへん内容が濃い講話をしていただき、災害や防災についてしっかり考えることができました。



子どもたちとの直接的な交流活動はありませんでしたが、西部自治会の元気野菜づくりサポーターの皆様も、次年度の活動のために畑を整備して下さっています。

地域の皆様の教育支援に心から感謝しています。

本年度も、たいへんお世話になりました。次年度のご支援、ご協力もよろしくお願いいたします。